30 学校評価書

東温市立川上小学校

平成31年2月12日

1 学校の教育目標

「健康で明るく」とともに生きる川上っ子の育成

2 経営の基本方針

○協育 みんなが協力して育てる学校
 (目指す児童の姿) **かわすあいさつ**
 ○共育 互いに教え、教えられ共に育つ学校
わかち合う心 **かんがえ、表現する力**
 ○響育 互いの心が響き合う学校
みんなで踏ん張る底力
 ○郷育 故郷に生まれ、故郷を想い、故郷に還す学校

評価領域	評価項目	評価の観点	評価			考察及び改善方策 (○考察 ●改善方策)	学校関係者評価委員の評価
			教職員	児童	保護者		
生徒指導	いじめ・不登校等への対応	教育相談の充実といじめ・不登校等の早期発見・早期解決に努め、子どもがど真ん中で明日も行きたくなる温もりのある学校づくりに努めた。	3.6	3.7	3.3	○ 学期に1回「学校生活についての調査」や毎月「学校生活についての月調査」を行い、アンケート調査を基にした教育相談を実施するなどして、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めている。事案に応じて、複数の教員で対応するとともに、家庭訪問や電話連絡等による保護者との関わりを通して、保護者との連携の強化に努めている。 ○ よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート(Q-U、ハイパーQ-U)の結果を分析し、効果的な指導となるよう努めている。 ● 不登校傾向にある児童については、学年部を中心に複数の教職員でチームを構成し、相談しながら支援の方法を考えている。今後も児童の小さな変化を見逃さず、対応していきたい。	○ 先生方は、いじめ・不登校の対応を含め、細かいところまで児童のことを見ていただき、有り難く思う。 ○ 先生方は、いじめ防止基本方針のもと、早期発見に努め、問題があると迅速に行動し、解決に取り組んでいる。 ○ 先生方は、日頃から一人一人の児童を大切に、児童理解に努めている。 ○ 早朝の登校の見守りや指導、声かけ等、よくしていただいている。安心して情報を伝えることができ、早期に解決してくださり、有り難い。 ○ 生徒指導体制について、学校側にその受け皿の整備が充実している様子が分かる。 ○ 昨年度に引き続き、先生方の生徒指導体制への評価がとても高く、高い意識をもって取り組んでいることがよく分かる。 ○ 家庭内での生活習慣ができていない。 ○ 児童の生徒指導体制への評価が、昨年度に続いて一番低いのは、個人差が大きいのではないかと思う。楽しく学校に行けている児童は多いようなので、そういった雰囲気づくりに重点を置いていただいている成果だと思う。
	基本的生活習慣の定着	家庭や地域社会と協力し、基本的な生活習慣の定着に努めた。	3.3	3.4	3.1		
	生徒指導体制の整備	家庭や地域との連携を密にするとともに、家庭や地域から得た情報を教職員間で共有した。	3.8	3.3	3.5		
確かな学力を育てる教育	基礎・基本の定着	「みんなの学習クラブ」や「愛媛学びの森学習支援サイト」を活用するとともに、朝学習の時間(「漢字の広場」、「計算の広場」、「朝の読書」)を利用して、学習習慣の確立や基礎的、基本的内容の定着を図った。	3.5	3.5	3.4	○ 「学力向上・授業力向上のためのチェックリスト」(上半期、下半期)や「家庭学習の手引き」を見直し、授業や家庭学習が充実するよう、具体的な取り組み方を示すことに努めた。 ○ 基礎的、基本的内容の確実な定着を目指し、朝学習の時間を確実に確保できるように教職員の意識統一を図った。また、応用的な内容を含むプリント教材(東温市から提供していただいている「みんなの学習クラブ」や「愛媛学びの森学習支援サイト」等)を活用している。 ○ 授業に「考えタイム」(個別学習)と「学び合いタイム」(小集団学習)を意図的、計画的に位置付けることにより、主体的に考えたり、表現したりする力の育成に努めている。 ● 「家庭学習がんばりカード」を配付し、1週間分の学習内容や学習時間を記録して意欲付けを図った。今後も、家庭と連携して家庭学習の充実を努めたい。	○ 教材の選定が素晴らしい。 ○ 本校の家庭学習の手引きは、具体策が書かれており、児童、保護者にとって理解しやすいと思う。 ○ 学校ではできている。 ○ 「家庭学習の充実」の評価が、教職員と保護者に差がある。保護者としては、家庭での学習時間が足りないと感じている結果かもしれない。 ○ 家庭学習は、その必要性を自覚しながら実践できていないようである。保護者の自覚が更に必要だと思う。 ○ 思考力の育成は、時間的にもゆとりのある教育現場から生まれるのであろうか。大人になる子たちに最も大切な教育だと思う。 ○ 家庭での問題がある。 ○ 家庭での学習に不安を抱いている保護者、児童が多いように感じる。宿題なども学級によって差がある場合があるようなので、その辺りも先生方で共有していただきたい。
	家庭学習の充実	家庭学習の状況を点検し、個の学習に生かすなど、家庭学習が充実するように努めた。	3.3	3.3	2.9		
	言語活動の充実	自分の思いや考えを伝え合う「学び合いタイム」や学級活動等で発表する場を工夫し、考え、表現する力の育成に努めた。	3.3	3.4			
	思考力の育成	学習課題を明確にし、考えさせる授業展開を行うことにより、学習意欲の向上を図り、確かな理解と思考力の育成を図った。	3.1	3.4			
豊かな心、健やかな体を育てる教育	道徳教育の充実	道徳科を要とし、全教育活動を通じて、仲間とわかち合う心を育てながら、共に励まし合い、みんなで踏ん張る底力を養った。	3.6	3.6	3.4	○ 児童会集会活動において、道徳教育との関連を図ったテーマを設定したり、いじめ問題を取り上げて劇化したりするとともに、異年齢集団で話し合う活動を設けることで、多面的・多角的に考えを深められるようにした。 ○ 人権・同和教育や性教育に視点を当てた参観日をそれぞれ実施し、心や体、命について考える時間を設定し、学級PTAや事後の感想を通して家庭との連携を図った。 ○ 時期によって、水泳、陸上、マラソン、縄跳びといった運動の種類に変化をもたせたり、えひめ子どもスポーツITスタジアム登録によって他校とも競い合ったりしながら、体力や技能の向上に努めた。	○ 特に本校は、異年齢とのつながりを含め、仲間と仲よく、様々な活動に取り組んでいると思う。 ○ いきいき川上発表会では、ふだんの学習の成果が大いに見られ、学年に応じた表現力は素晴らしいと思う。 ○ 人権・同和教育や性教育に視点を当てた参観日等、道徳教育が児童の活動の中で、心豊かに育ってきているのが見られる。 ○ 東温市音楽会や校内マラソン大会を見ると、心身共に健やかに育っているなど感動する。 ○ よりよい仲間づくり・集団づくりができていると思う。 ○ 学校での道徳教育、家庭での平和さと友達への心遣いのしつけができているのではないかと思う。 ○ 道徳教育の充実、なわとびチャレンジタイムなど、休み時間まで先生方が取り組んでくださり、児童の健やかな体づくり、クラスの団結につながっていると思う。 ○ 今年度の水泳記録会が中止になったことは残念であった。 ○ 道徳教育は、保護者の子育てに関する考え方に頼る部分も大きく、加えて、学校内での道徳教育によるものだと思う。 ○ 保護者、学校、地域全体で、児童を育みたいものだと思う。
	仲間づくり・集団づくり	異年齢集団活動や児童主体の活動を通して、ともに生きる川上っ子の育成に努めた。	3.3	3.7	3.5		
	健康づくり	自らの健康に関心をもたせ、保健指導を通して自己管理能力の育成に努めるなど、健康で明るい児童を育成した。	3.4	3.5	3.3		
	体力づくり	えひめ子どもスポーツITスタジアムへの挑戦など、体育的活動の充実を図り、健康の保持と体力・運動能力の向上を図った。	3.3	3.7	3.6		
	食育教育の充実	食に関する指導を通して、食についての関心をもたせ、望ましい食習慣の形成や食生活の改善に努めた。	3.2	3.4	3.0		

評価領域	評価項目	評価の観点	評価			考察及び改善方策 (○考察 ●改善方策)	学校関係者評価委員の評価
			教職員	児童	保護者		
特別支援教育	特別支援教育の充実	誰もが安心して参加できる「分かる・できる」授業づくりに取り組んだ。	3.3	3.6	3.1	○ 教職員は校内外の研修を通して、積極的に特別支援教育の理解に取り組むことができた。一人一人の実態を踏まえ、「分かる授業」を目指して、「効果的な指導に結び付く項目のチェックリスト ～どの子にも分かりやすい授業づくりをめざして～」の活用を進め、個に応じた指導や支援ができるように努めている。	○ いきいき川上発表会で、特別支援学級の児童が、とても楽しくステージで発表していたのを見て感動した。先生の努力のたまものであると思う。 ○ 先生方は、分かる授業、一人一人に合った指導を目指され、取り組まれている。 ○ 児童は、学習内容を理解し、達成感を味わう喜びの評価が高い。 ○ 一人一人に声かけし、楽しく、興味をもって学べるよう配慮されている。 ○ ふれあい交流会等も楽しそうであった。 ○ 一人一人に応じた学習支援に対して児童の評価が高いのは、授業内容が充実している証拠だと思う。 ○ 児童一人一人に応じた学習指導や生活支援がよくできている。 ○ 授業中など、一人一人に声をかけたり、気を配ったりしていただいている様子が伺える。
安全・安心な教育環境の整備	登下校の安全確保	家庭や地域・関係諸機関と連携して児童をまもり育て、登下校の安全確保に努めた。	3.6	3.8	3.6	○ 毎朝の見守り活動、青色防犯パトロール、かわか見っこの日の登下校の指導等で、事件、事故等の防止に努めた。また、不審者対応の避難訓練を実施し、「安心・安全な学校」の実現に努めた。 ○ 「防災マニュアル」の見直しを行い、食物アレルギーへの対応やJアラート発表時の対応、インターネット等での誹謗中傷等への対応などを追加した。 ● 火災、地震の避難訓練や児童引き渡し訓練、緊急地震速報による仮避難の訓練などを継続して実施している。今年度は、児童引き渡し訓練を川上幼稚園と合同で実施した。今年度の反省を踏まえ、来年度の訓練の内容や方法を検討していく。	○ 登下校の見守り活動など、広範囲校区であるにもかかわらず、とても熱心に対応していただいている。 ○ 教職員による毎日の見守り活動を有り難く思う。 ○ 登下校の見守りをしたとき、児童は安全な登下校をしている様子が見える。 ○ 児童の評価が高く、満足度が分かる。 ○ 登校時、先生方や地域の方の優しい声かけがあり、有り難い。 ○ 安全・安心な教育環境の整備は、本校が手本になってもよいほどだと思う。 ○ 登下校の見守りをしたとき、児童は朝の挨拶を気持ちよく交わしてくれる。先生方の児童への指導をうれしく思う。 ○ いつも先生方が見守ってくださり、児童は安心して登下校していると思う。児童も挨拶など、マナーも守れており、とても気持ちがよい。 ○ 引き渡し訓練は、訓練のための行動となってしまっている。より本番に近い訓練を考える時期かもしれない。
	防災教育の充実	教科等における防災学習や行事等で防災指導を適切に行い、災害に適切に対応する能力の基礎を培った。	3.5	3.9	3.5		
	情報機器の適切な利用	I C T機器を積極的に活用し、分かりやすい授業づくりに努めるとともに、情報機器の適切な利用について指導した。	3.1	3.5	3.4		
家庭・地域との連携	開かれた学校づくり	学校や学年、学級の教育活動に対して、保護者や地域住民、外部人材等の参画及び協力を得た。	3.2	3.5	3.3	○ 校報やホームページにおいて、学校の情報をより多く、より早く公開することに努めている。特に、ホームページは毎日更新することで、児童の日々のいきいきとした活動を伝えることができたと考え。今後もタイムリーな情報を積極的に発信していく。 ● 「一人一役活動」を中心に、保護者の方がP T A活動に参加することができている。評価項目「P T A活動への協力」の昨年度の結果との比較からも参加意識の向上が伺える。今後、家庭教育学級や学校保健委員会にも、より多くの保護者が参加できるように、日程や内容を工夫しながら取り組んでいきたい。	○ 地域とのつながりも深く連携できている。 ○ ホームページ、校報「かわかみ」、学年だよりを見せていただき、情報の共有化に積極的に取り組まれていて、児童のいきいきした日々の活動の様子がよく分かる。 ○ ホームページ、校報など、P T Aや地域への共有化がとても充実している。 ○ ホームページの川上小日記では、学校の様子がよく分かり、いきいきした学校の様子が伝わっている。 ○ 一人一役活動により、学校に協力しようとする気運が高まり、評価に現れている。 ○ 1月参観日（N T Tドコモによる出前授業）は、多くの保護者の参加があったように思う。ネットサービス等が充実する反面それらから子どもたちの健全さを守るべき社会である現実を保護者に理解してほしい。 ○ 年々よくなっている。 ○ P T A活動においては、関わる人とそうでない人の差があると感じる。もっと気軽に参加できる環境づくりが必要である。 ○ 地域行事等に誰もが参加しやすいように声かけ等をしていきたい。
	P T A活動への協力	各種P T A活動に参加したり、協力したりしている。	3.4		3.4		
	情報の共有化	積極的な情報公開・情報の共有化に努め、地域・家庭・学校が息の合った教育活動を推進した。	3.4		3.6		
特色ある学校づくり	青少年赤十字活動	わくわく班活動やJ R C活動への主体的参加を通して、奉仕や協働の精神を培った。	3.4	3.4	3.1	○ 川小金管バンドは、年間を通して練習に取り組み、今年度は東温市音楽会に参加した。今年度も小中学校合同の演奏会を地域で開いたり、地域のイベントへの参加を新たに依頼されたりするなど、特色ある取組の一つとなっている。 ○ 運営委員会が中心となって挨拶運動に取り組み、元気よく挨拶を交わすことができている。その輪が、地域の方々や見守り活動の方々にも広がってきている。	○ 児童は、学校外でもとても元気な挨拶ができており、誇りに思う。 ○ 気持ちのよい大きな声で挨拶ができている。今後も、地域で広がるように啓発していきたい。 ○ 「心の窓」への書き込みは、振り返りの意味からもよいと思う。 ○ パパイヤの収穫や給食での試食等、興味をもった。 ○ 金管バンドは、先生がとても熱心に取り組んでくださり、東温市音楽会への参加や中学生との演奏など、学校内で経験できないことに関わることができ、児童にとってもよい影響を与えていると思う。 ○ 挨拶は、子どもでも大人でも自分自身を元気にしてくれるもので、コミュニケーションの輪も広がると思う。
	挨拶運動	気持ちのよい挨拶を交わし合うなか、校内や地域で進んで挨拶ができる児童を育成した。	3.3	3.5	3.2		
施設・設備の充実	施設・設備の安全管理	安全点検の日常化を図り、安心・安全な教育の場づくりに努めた。	3.5	3.7	3.7	○ 施設、設備については、定期的に安全点検を行い、修理、修繕をしている。今年度は、正門門扉の取り替え、児童玄関の床材の張り替え、くすのき児童クラブへの通路舗装及び転落防止柵設置などを整備していただいた。プールの完成は、3月中旬の予定である。 ○ 夏季休業中のP T A親子奉仕活動や運動会準備において、多くの保護者の方に校内整備をしていただくことができた。 ○ 育苗、植え付け、灌水などを計画的に行い、美しい草花の絶えない潤いのある学校づくりに努めた。	○ プールの完成が楽しみである。よい施設で児童の熱意も向上すると思う。 ○ プールの建設工事が始まり、設備もよくなり、すばらしい。 ○ 三者とも評価が高いのは、校内の安全点検や環境に目が行き届いているからだと感じる。学校を訪問しても気持ちのよい環境である。 ○ 事故のない場所、過ごしやすい場所となっていると思う。加えて、季節感のある校内は気持ちの安らぎになると思う。 ○ プールの建設工事に伴い、遊具が無くなっていることが少し残念である。
	校内環境の整備	季節感のある校内掲示や栽培活動への取組を行い、花と緑の美しい、潤いのある学校づくりに努めた。	3.4	3.4	3.4		